

第 58 回 表現学会全国大会日程

※新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、当初の名古屋学院大学での現地開催から、オンライン開催（Zoom 使用）に切り替えました。会員、非会員問わず、どなたでも参加可能ですが、本学会ウェブサイト（<https://hyogen-gakkai-official.org>）から事前の申し込みが必要です。

第 1 日 令和 3 年 6 月 5 日（土）

○理事会（10:00～12:00）

◇開会（13:30）

開会の辞

代表理事 愛知学院大学 多門 靖容

◇公開講演（13:35～14:45）

「名古屋から東京に」は OK なのに、なぜ「1時から5時に」は不自然なのか

— 自然言語とトポロジーの接点 —

名古屋学院大学教授

今仁 生美

◇シンポジウム（15:00～17:30）

方言表現論の最前線

司会：県立広島大学（名）

友定 賢治

オノマトペの意味・使用法の地域的差異

名古屋学院大学

川崎めぐみ

「断り」にみる配慮表現の動向

奈良大学

岸江 信介

配慮の発想と運用

名古屋市立大学

椎名 涉子

◇会員総会（17:30～17:50）

第 2 日 令和 3 年 6 月 6 日（日）

◇研究発表（9:30～11:00／発表 25 分＋質疑 15 分・休憩 10 分）

「A は B の顔／看板／目玉」形式に関する考察

東京外国語大学（院）

杉山 泰斗

日本語はコロナをどのように捉えているか

— 「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の考察から—

名古屋学院大学

梶原 彩子

青島農業大学

陳 帥

横浜国立大学（非）

松浦 光

中央大学（院）

菊地 礼

※不測の事態に備え、13:00～17:00 を、第 1 日目と第 2 日目の予備枠と致します。

◇閉会（11:00）

閉会の辞

代表理事 愛知学院大学

多門 靖容